

ファーと怪獣GALファッション

ノルディック柄

2010年の秋冬は北欧をルーツとするノルディック柄がビクトトレンドになりました。ノルディック柄のセーターはスカンジナビアセーターとも呼ばれ、トナカイや雪の結晶等の柄がモチーフに使われるのが特徴です。2010-11年の秋冬にブランドのメゾン（会社）がノルディック柄を主役にコレクションを発表したのが今秋冬のトレンドにつながったと考えられます。

2011年の秋冬では、2010年と異なり登山や雪山を連想させるコーディネートでファー素材とノルディック柄が提案されています。また2009年から森にいそうな女の子といったイメージから森ガール、山スカートや柄のレギンスといったアイテムを登山ルックに取り入れた山ガールなどのイメージやファッションが出現しましたが、秋冬素材のファーとノルディック柄という特徴から雪ガールという言葉が生まれ、動向が注目されています。

怪獣GAL

雪ガールとは異なるファーを取り入れたスタイリングが登場しています。共通するのはファーをメインアイテムとしている部分ですが、10代から20代前半のギャル系を中心に怪獣GALと言われるスタイリングが流行の兆しを見せています。

海外で注目される日本発のファッションはコム・デ・ギャルソンやヨウジ・ヤマモトに代表されるデザイナーのクリエイションが主体でした。しかし90年代以降、時代や社会、文化の移り変わりを背景に、街に集う若者たちが発信する「ストリート・ファッション」が台頭してきました。その後ロリータやギャルなどのストリート発祥のファッションが次々と現れ、世界中から注目されるファッションになっています。

今季注目の「怪獣GAL・ファッション」はファーのチャーム(フックのついたアクセサリ)を腰にぶら下げ、しっぽを付けるようなスタイリングと、ファー付のブーツやファーの

レッグ・ウォーマーが特徴としてあげることが出来ます。

足下にボリューム感を持たせるこのスタイルは、90年代半ばから後半にかけて爆発的な流行を見せたルーズソックスのスタイリングが想起され、足下のボリュームというキーワードが春夏も注目できます。首元の巻き物で新しいアイテムは「スヌード」が注目されています。スヌードは、もともとはスコットランドの独身女性が頭に巻いた紐状のヘアバンドがスヌードの起源と言われています。

ボリューム感のあるスタイルとファーの流行の背景には、世界的な経済不況や閉塞感から身を暖め守るという意識がファッションにも色濃く反映されていると考えられます。

事業化支援本部 <墨田支所>

加藤 貴司 TEL 03-3624-4091

E-mail: kato.takashi@iri-tokyo.jp

